

平成 27 年度 全国道路・街路交通情勢調査

自動車起終点調査（OD調査）

データ利用の手引き

国土交通省道路局企画課

道路経済調査室

目 次

1.	全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査（OD調査）について ...	1
1.1	調査概要	1
1.2	調査対象	2
1.3	調査方法	3
2.	集計表について	4
2.1	集計表一覧	4
2.2	用語の解説	8
2.3	集計区分の解説	9
2.4	データ活用にあたって（留意事項）	11

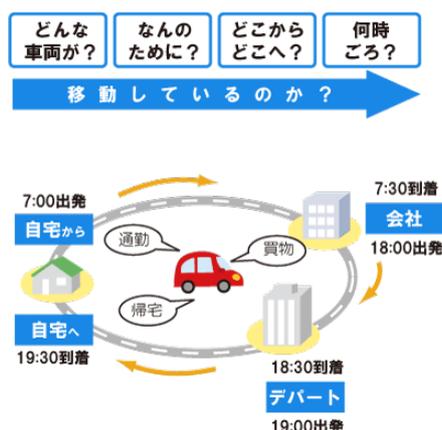
1. 全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (OD 調査) について

1.1 調査概要

(1) 調査の沿革

本調査は、日本全国の道路交通の実態を把握し、道路の計画、建設、管理などについての基礎資料を得ることを目的として、昭和 33 年から概ね 5 年ごとに実施されている調査です。本調査では、秋季（9 月～11 月）のある 1 日を対象日として、その日における自動車の運行状況（出発地・目的地、トリップ長、運行目的・乗車人員（乗用車類）、積載品目・積載重量（貨物車類）等）を把握しています。

なお、本調査は、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 19 条第 1 項の規定に基づく「一般統計調査」として承認を受けているものです。



(2) 主な活用場面

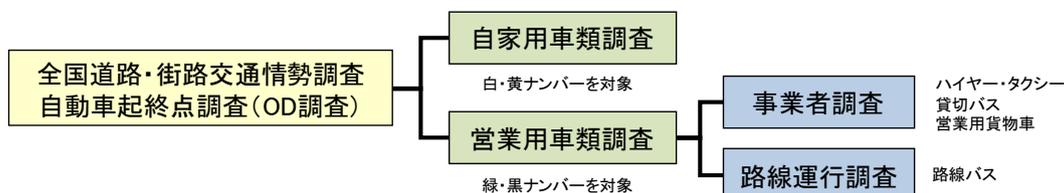
本調査の主な活用場面としては、①OD 表の作成、②将来交通需要推計モデルへの活用、③全国幹線旅客純流動調査への活用があげられます。

調査目的	活用場面の例
①OD表の作成	●現況ODの分析 (渋滞対策等検討時の交通特性分析や交通量配分に活用)
	●将来ODの分析 (事業評価、償還計画、道路計画立案、企画検討、環境アセス等に活用)
②将来交通需要推計モデルへの活用	●将来フレームの設定 平均利用距離、平均輸送人数(乗用車)、平均積載トン数(貨物車)
③全国幹線旅客純流動調査への活用	●全国幹線旅客純流動調査(航空、鉄道、自動車の都道府県をまたぐ旅客交通に関する統計)の「乗用車等」データに活用

1.2 調査対象

(1) 調査対象車両

本調査では、全国の自動車（自家用車及び営業用車）を調査対象としています。



(2) 調査規模

本調査では、OD表の精度（3車種別Bゾーン別発生交通量の精度を信頼度95%、相対誤差20%で確保）や将来交通需要推計モデルの精度（モデルに使用する指標のカテゴリ別の平均値の精度を信頼度95%、相対誤差20%で確保）といった観点を考慮して、車種別、市町村別に必要な調査台数を設計しています。平成27年度の調査では、自家用車は全国7,500万台の約5%を抽出（回収標本率は約1.4%）、営業用車は全国150万台の約20%を抽出（回収標本率は約9.3%）しています。

単位：万台

			保有台数	調査台数	有効回収台数	抽出率	回収標本率
			A	B	C	B/A	C/A
自家用	自家用乗用車	個人使用車	5,441	239	69	4.4%	1.3%
		法人使用車	607	26	10	4.3%	1.6%
		自家用貨物車	1,446	72	25	5.0%	1.7%
			152	31	14	20.3%	9.3%
営業用	ハイヤー・タクシー		23	2.2	1.4	9.5%	5.9%
	営業用貨物車		123	28	12	22.7%	10.0%
	貸切バス		5	0.6	0.4	11.4%	7.4%
	全車計		7,646	367	118	4.8%	1.5%

(3) 調査対象者の選定方法

本調査では、自動車登録ファイルや軽自動車検査記録簿等を用いて、車種別、市町村別に自動車は無作為抽出し、当該自動車の所有者を選定しています。

(4) 調査対象日

本調査では、調査実施年の9月～11月のうち指定する平日・休日各1日を調査対象日としています。

1.3 調査方法

(1) 調査方法（配布及び回収方法）

本調査は、調査票等を郵送配布し、回答者が調査票もしくは Web による回答を選択する方式で実施しています。なお、路線バスについては、運行系統別輸送実績報告書から転記することで把握しています。

(2) 調査項目

本調査では、①車両情報、②世帯情報、③トリップ情報といった調査項目を把握しています。

車両情報	
抽出 情報	使用者の住所、使用の本拠
	使用燃料、初度登録年月、乗車定員
	車両重量、最大積載重量
調査 項目	車種、所有形態、主な運転者
	業種、事業免許の種類、走行距離メーター
	ETC車載機の設置
世帯情報	
調査 項目	性別、年齢、職業、就業形態
トリップ情報	
調査 項目	調査車両記号、車両の利用有無
	出発地・目的地の住所、目的地で利用した施設、駐車場所、移動距離
	出発・到着時刻
	移動目的
	運転者、乗車人員（輸送人員）
	積載品目、積載重量、積んだ・降ろした重量、付帯業務の有無
	高速道路の利用有無、利用したIC
	他の交通機関から（へ）の乗り換え

(3) データの作成方法（拡大処理）

本調査は、自動車登録ファイル及び軽自動車検査記録簿に登録されている自動車保有台数（平成 27 年 9 月時点）を母集団として、車種別、市町村別に拡大処理を行っています。

2. 集計表について

2.1 集計表一覧

集計表は、平成 27 年度調査の集計表と時系列集計表（H2～H27）があります。

■時系列集計表（H2～H27）

集計表	車種区分	集計対象マスターデータ		
		オーナー	自動車 利用特性	OD 集計
1 発生交通量の推移(車種別・業態別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス			●
2 走行台キロの推移(車種別・業態別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス		● (平均ト リップ長)	● (トリッ プ数)
3 稼働率の推移(車種別・業態別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス	●		
4 トリップ原単位(ネット)の推移(車種別・業態別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス	●		
5 トリップ原単位(グロス)の推移(車種別・業態別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス	●		
6 目的構成比の推移(車種別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種			●
7 目的別トリップ原単位(ネット)の推移(車種別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種	●		
8 目的別トリップ原単位(グロス)の推移(車種別、ブロック別)	全車種 (路バス除く) 2車種	●		
9 平均乗車人数の推移(車種別・業態別、ブロック別、平休別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス		●	
10 平均トリップ長の推移(車種別・業態別、ブロック別、平休別)	全車種 (路バス除く) 2車種/ 2業態 +貸切バス		●	
11 平均積載トン数の推移(車種別・業態別、ブロック別、平休別)	貨物車 3車種/ 2業態		●	

■平成 27 年度調査の集計表

[基礎集計]

集計表			車種区分		集計対象マスターデータ		
					オーナー	自動車 利用特性	OD 集計
トリップ数集計	1	車種別OD表（都道府県間）	全車種	2車種			●
	2	目的別OD表（都道府県間）	全車種	1車種			●
	3	時間帯別発生交通量（車種別）	全車種	2車種	●		
	4	トリップ数分布（車種別）	全車種 (路バス除く)	2車種	●		
車両重量集計	5	車両重量分布（車種別）	全車種	2車種	●		
トリップ長集計	6	トリップ長分布（車種別・業態別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種/ 2業態 +貸切バス		●	
	7	平均トリップ長（車種別・業態別、ブロック別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種/ 2業態		●	
	8	目的別トリップ長分布（車種別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種		●	
	9	目的別平均トリップ長（車種別、ブロック別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種		●	
	10	平均走行距離（車種別・業態別、燃料別、初度登録年次別）	全車種 (路バス除く)	2車種/ 2業態 +貸切バス		●	
乗車人数集計	11	目的別乗車人数比率（車種別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種		●	
	12	目的別平均乗車人数（車種別、ブロック別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種		●	
高速道路利用率集計	13	距離帯別高速道路利用率（車種別、ETC設置有無別、平休別）	全車種 (路バス除く)	2車種		●	

[乗用車の利用特性集計]

集計表			車種区分		集計対象マスターデータ		
					オーナー	自動車 利用特性	OD 集計
トリップ数集計	14	乗用車の時間帯別発生交通量（目的別）	乗用車	1車種	●		
	15	乗用車の乗り換え有無比率（目的別）	乗用車 （自家用）	1車種		●	
	16	乗用車のトリップ原単位（性年齢別、主な運転者の形態別、平休別）	乗用車 （自家用 個人使用）	－		●	
トリップ長集計	17	乗用車の平均トリップ長（性年齢別、職業別、平休別）	乗用車 （自家用 個人使用）	－		●	
	18	乗用車の平均トリップ長（性年齢別、就業形態別、平休別）	乗用車 （自家用 個人使用）	－		●	
乗車率集計	19	タクシー、バスの平均乗車率（乗車定員別、平休別）	乗用車 （営業用）	タクシー/バス		●	

[貨物車の利用特性集計]

集計表			車種区分		集計対象マスターデータ		
					オーナー	自動車 利用特性	OD 集計
トリップ数集計	20	貨物車の駐場所比率（業態別、付帯業務の有無別、平休別）	貨物車	1車種/ 2業態		●	
	21	貨物車のトリップ原単位（業態別、業種別、平休別）	貨物車	1車種/ 2業態		●	
トリップ長集計	22	貨物車の平均トリップ長（車種別・業態別、積載品目別）	貨物車	3車種/ 2業態		●	
積載トン数集計	23	平均積載トン数（車種別・業態別、積載品目別）	貨物車	3車種/ 2業態		●	
	24	平均積載トン数（車種別・業態別、ブロック別、平休別）	貨物車	3車種/ 2業態		●	
	25	平均積み降ろしトン数（積載品目別、施設別）	貨物車	1車種		●	
	26	平均積載率（事業免許種類別、最大積載重量ランク別）	貨物車 （営業用）	－		●	

※集計対象マスターデータの種類

①オーナーマスターデータ

オーナーマスターデータは、車両単位（運休車を含む）でデータが構成されており、トリップ数の集計を行うための拡大係数が設定されています。そのため、「量」の集計を行うことが可能です。また、トリップチェーン情報（車両単位の1日のトリップ情報）を保持しているため、車両単位の集計を行うことが可能です。

②自動車利用特性マスターデータ

自動車利用特性マスターデータは、地域毎の回収台数の差異による自動車利用特性の偏り（対象地域によるトリップ長の差異等）を補正するためのウェイト係数を設定しており、ウェイト係数を使用することで、偏りを補正した自動車利用特性の平均値集計が可能です。なお、「量」の集計を行うことはできません。

③OD集計用マスターデータ

OD集計用マスターデータは、NEXCOが実施している高速OD調査データを組み合わせた、現況OD表データです。OD集計用マスターデータは、トリップ単位（運休車を含まない）で構成されており、トリップ数の集計を行うための拡大係数が設定されています。そのため、「量」の集計を行うことが可能です。ただし、トリップチェーン情報（車両単位の1日のトリップ情報）は保持しておりません。

2.2 用語の解説

- ◆ トリップ
：通勤、通学、買物、食事、通院、送迎、観光、業務、帰宅など、ある目的を達成するための移動（目的が変わる毎に1回と数える）
- ◆ トリップ原単位（ネット）
：運行した車両のみを対象とした1台の1日あたりの平均移動回数（トリップ）
- ◆ トリップ原単位（グロス）
：運休していた車両も含めた全ての車両を対象とした1台の1日あたりの平均移動回数（トリップ）
- ◆ トリップ長
：1回のトリップの移動距離
- ◆ 稼働率
：全ての車両のうち、調査日に1回でも運行された車両の割合
- ◆ OD表
：出発地（Origin）から目的地（Destination）への移動（トリップ）を表形式で整理したもの
- ◆ 発生交通量
：ある地域から出発したトリップの総数
- ◆ 高速道路利用率
：地域間のトリップ数のうち、高速道路を利用したトリップ数の割合
- ◆ 平均乗車人数
：1回のトリップで車両に乗車した平均人数（平均乗車率は、乗車定員に対する平均乗車人数の比率）
- ◆ 平均積載トン数
：1回のトリップで車両に積載した貨物の平均重量（平均積載率は、最大積載量に対する平均積載トン数の比率）
- ◆ 平均積み降ろしトン数
：貨物車が、出発地で積んだ平均重量及び目的地で降した平均重量
- ◆ 乗り換え有無比率
：駅やバス停、空港等で、自動車を降りて、他の交通機関へ乗り換えた比率
- ◆ 駐車場所比率
：無料駐車場や有料駐車場など、目的地で利用した駐車場所の種類の比率

2.3 集計区分の解説

(1) 車種区分

1) 全車種（2車種／2業態）

車種	業態	
乗用車	自家用	
	営業用	タクシー
		路線バス・貸切バス
貨物車	自家用	
	営業用	

2) 貨物車（3車種／2業態）

車種	業態
軽貨物車	—
小型貨物車	自家用
	営業用
普通貨物車	自家用
	営業用

(2) 運行目的（5分類）

運行目的	内容
通勤・通学	学校・会社等への移動
業務	仕事に関係する移動、貨物の運搬などに関する移動
私事	家事、買物、観光、レジャー、通院、習い事などの移動
帰社・帰宅	自宅・会社等への移動
営業	営業用車（タクシー、バス、貨物車などの営業用車）の移動

(3) 業種（3分類）

業種	内容
第一次産業	農林・漁業
第二次産業	鉱業、建設業、製造業
第三次産業	卸売業、小売業、金融・保険・不動産業、運輸・通信業、電気・ガス・水道・熱供給業、サービス業、公務、分類不能

(4) 積載品目 (8 分類)

積載品目	内容
空車	空車
農林水産品	穀物、野菜・果物、その他の農産品、畜産品、水産品、木材、薪炭
鉱産品	石炭、金属鉱、砂利・砂・石材、工業用非金属鉱物
金属・機械工業品	鉄鋼、非鉄鋼金属、金属製品、機械
化学工業品	セメント、その他の窯業品、揮発油、その他の石油、石油製品、コークス、その他の石炭製品、化学薬品、化学肥料、染料・塗料・その他の化学工業品
軽工業品	紙・パルプ、繊維工業品、食料工業品
雑工業品	日用品、その他の製造工業品、金属くず、その他のくずもの、動植物性飼・肥料、廃棄物、輸送用容器、取り合わせ品、分類不能のもの
海上コンテナ	海上コンテナ (20 フィート)、海上コンテナ (40 フィート)、海上コンテナ (40 フィート背高)、海上コンテナ (その他)

(5) 主な運転者 (3 区分)

主な運転者	内容
個人専用	概ね特定の個人が使用している車両
家族共用	2 名以上の人が日常的に使用している車両
その他	—

(6) 施設 (3 分類)

施設	内容
産業施設	事務所・会社・銀行、スーパー・デパート、その他の商業施設、宿泊施設・ホテル
交通運輸施設	港湾、空港、鉄道駅、トラックターミナル、集配送センター、その他の交通運輸施設、市場、倉庫、工場・作業場
その他	自宅、住宅、教育文化施設、福祉医療施設、行政施設

2.4 データ活用にあたって（留意事項）

(1) データの精度

本調査はサンプル調査で行っているため、データには統計的な誤差が含まれます。そのため、サンプル数が少ないデータを用いる際にはデータ精度に留意が必要です。

集計カテゴリ毎にサンプル数が少なく、精度の目安を担保していないデータについては、それぞれの集計データの備考欄に「*」のフラグを付しております。集計値は掲載していますが、集計値を利用する際に留意する必要があります。

また、更にサンプル数が少なく、集計区分に分けることが出来ないデータについては、集計値は掲載せず「-」と示し、備考欄に「@」のフラグを付しております。

(2) データの引用・転載について

本データの引用・転載や編集・加工時には、出典として「全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査（国土交通省道路局）」と記載ください。